

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論	岩崎沙織	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
カラーコーディネートやUC（色のユニバーサルデザイン）など、実践的な色の知識・テクニック修得を目指します。配色ルールや色彩イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。			
【講義概要】			
デザインにおける色の役割、色彩の基礎知識、UC（色のユニバーサルデザイン）、色彩心理、色彩調和の講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表 ※AFT色彩検定3級・UC級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	デザインにおける色の役割・色彩基礎		
3	課題制作①		
4	UC（色のユニバーサルデザイン）		
5	課題制作②		
6	色彩心理		
7	課題制作③		
8	色彩調和		
9	課題制作④		
10	作品制作①		
11	作品制作①		
12	作品制作②		
13	作品制作②		
14	作品発表		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・怠惰などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1983年生まれ。お茶の水女子大学生生活科学部卒業。服飾史や民俗学を学ぶ。広告会社勤務後、2014年カラーコンサル			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部（3年制）	2022年度	2年グラフィックデザイン専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田 雅樹	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
【講義概要】			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回			
授業計画及び学習の内容			
1	オリエンテーション	17	会話と演習
2	会話と文法	18	会話と演習
3	会話と文法	19	会話と演習
4	会話と文法	20	会話と演習
5	会話と文法	21	会話と演習
6	会話と文法	22	会話と演習
7	会話と文法	23	会話と演習
8	会話と文法	24	会話と演習
9	会話と文法	25	会話と演習
10	会話と文法	26	後期まとめ
11	会話と文法	27	後期まとめ
12	前期まとめ	28	後期まとめ
13	前期まとめ	29	後期まとめ
14	中間試験	30	後期試験
15	会話と演習		
16	会話と演習		
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。朗読、吹替え、PVやアートビデオ出演の他、THEATRE茶房の冠ではプロデューズ、演出を兼務。俳優を生かした外国語習得の方法論の探求、実践に取り組む。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年グラフィックデザイン専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
6/11(土)海外講座A、7/9(土)就職セミナーA、9/17(土)2年就職セミナー、10/15(土)同窓会講座、10/29(土)就職セミナーB、11/19(土)海外講座B、12/11(土)創形展講座、2/10(金)就職セミナー（就活ポートフォリオ）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	海外講座A		
2	就職セミナーA		
3	2年就職セミナー		
4	同窓会講座		
5	就職セミナーB		
6	海外講座B		
7	創形展講座		
8	就職セミナー（就活ポートフォリオ）		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインプロセス	松蔭浩之	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>一年次のPC実習の履修度の確認と、さらなるスキルアップをはかる。デジタルカメラ撮影法とあわせ、Adobe社のイラストレータとフォトショップを駆使し、デザインワークの領域を拡大する。後半は「セルフポートレート」を使用したCDジャケット制作に取り組む。</p>			
【講義概要】			
<p>「写真」を使った「CDジャケット」のデザインと、DTP印刷納品までのプロセスを享受。講義とワークショップを毎回繰り返しながら、CDというフォーマットで作品を完成させる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 課題提示		
2	イラレ1		
3	イラレ2		
4	イラレ3		
5	イラレ4		
6	フォトショ1		
7	フォトショ2		
8	フォトショ3		
9	フォトショ4		
10	デジカメ講座		
11	CDジャケット (ガイダンス)		
12	CDジャケット (ディレクション)		
13	フォトシューティング A		
14	フォトシューティング B		
15	CDジャケットデザイン最終チェック		
16	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	企画制作実習	山本哲次	2単位 96時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>社会におけるデザインの役割を理解し、自分の可能性を見いだすことを目標とします。「情報」を分析し、整理整頓して「デザイン」というカタチに構築し直すことを理解すること。また制作体験を通して作品制作に自信を持ち、自主的に制作できることを目標とします。</p>			
【講義概要】			
<p>新しい美術館の企画を立て、そのロゴマークが入ったグッズとフライヤーを完成させます。情報収集、分析評価を行いながら企画立案、アイデア出し、制作、展開まで体験し、更に試作や検証を繰り返すことにより作品の完成度を上げることを学びます。また、授業内で現在のデザイナーの役割や制作方法などの講義を行います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	演習1・2・3制作	17	演習5 提出
2	演習1・2・3制作	18	演習6・7制作
3	演習1・2提出/講義	19	演習6・7 チェック
4	演習3制作	20	演習6・7制作
5	演習3 チェック/講義	21	演習6・7 提出
6	演習3・4制作	22	演習8・9制作
7	演習3・4制作	23	演習8・9・10・11チェック
8	演習3・4制作	24	演習8・9・10・11制作
9	演習3 提出/演習4 チェック	25	演習8・9 提出/演習10・11 チェック
10	演習3 修正/演習4・5 制作	26	演習10・11 チェック
11	演習3・4・5 チェック	27	演習10・演習11制作
12	演習3・4 修正/演習5制作	28	演習10・演習11制作
13	演習3再提出/4 提出/5 チェック	29	演習10提出・演習11 試作チェック
14	演習5 制作	30	演習10・演習11制作
15	演習5 チェック	31	演習10・演習11制作
16	演習5 制作	32	講評会
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。</u> <u>花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	タイポグラフィ基礎	木村文敏	2単位 87時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文字形状を見る目を養い、活字書体の知識を身に付け、組版や造形のセンスを磨きます。同時に課題を通して「読みやすさ」とは、「文字を組む」とは一体どういうことなのかを考えます。			
【講義概要】			
文字造形の基礎演習を経て、書体の歴史や変遷を学び、定番フォントの特徴や個性を探り、文字組みの基本とフォントの使い方を学習した後、オリジナルのフォントを制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	概要説明・錯視と視覚調整	17	フォント作成のプロセス1
2	課題1 視覚調整	18	課題6-2 アウトラインデータ作成1
3	和文書体の基本	19	デザインチェック1
4	課題2 漢字のレタリング	20	課題6-2 アウトラインデータ作成2
5	課題3 かなのレタリング	21	デザインチェック2
6	課題2+3 センターを取る	22	課題6-2 アウトラインデータ作成3
7	和文書体・縦組みと横組み	23	デザインチェック3
8	課題2+3 組見本作成	24	課題6-3 フォントデータ作成1
9	欧文書体の基本	25	組版チェック・修正1
10	課題4-1 欧文のレタリング	26	課題6-3 フォントデータ作成2
11	欧文書体・ラインシステムと文字のセット	27	組版チェック・修正2
12	課題4-2 欧文の組見本作成	28	書体見本作成
13	文字を「組む」	29	プレゼンテーション・講評
14	課題5 スペーシング		
15	フォントのデザイン		
16	課題6-1 アイデアスケッチ		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。株式会社写研を経て、有限会社字游工房でヒラギノ明朝、ヒラギノ角ゴシックなどの書体制作に携わる。1998年よりフリー、文字デザインを中心に活動中。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアブランディング基礎A	高林直俊	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
【講義概要】			
各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション（課題発表）		
2	課題曲発表 & 実演		
3	ラフアイデア チェック		
4	制作進行 & 進行チェック		
5	制作進行 & 進行チェック		
6	制作進行 & 進行チェック		
7	制作進行 & 進行チェック		
8	プレゼンテーション&講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井トデザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛る。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	広告デザイン基礎	原口昌彦	1単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
プロになるための基礎的な要素を実践形式で身につけていく。企画、立案、設計に必要なアイデアの構築とその仕組みを広告グラフィック・デザインをベースに展開する。			
【講義概要】			
テーマごとに実践形式の課題を出し制作を実施。問題点の抽出と改善をプロセスを通して発見出来るワークフローを身につける。制作終了後プレゼンテーション・講評を実施。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／ブランディング		
2	制作		
3	ブランディング		
4	企画・制作		
5	制作		
6	企画・制作		
7	制作		
8	企画・制作		
9	制作		
10	企画・制作		
11	制作		
12	企画・制作		
13	制作		
14	プレゼンテーション・講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 東京生まれ。1981年東京藝術大学美術学部卒業後、(株)電通アートディレクターとして、クリエイティブ局勤務。主にグラフィック広告の制作に努める。2012年電通退社後クリエイターとして活動。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションA	関根秀星	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。			
【講義概要】			
鉛筆を用いてモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての高い完成度を目指す。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	人体デッサン		
3	人体デッサン		
4	講評会		
5	構成デッサン		
6	構成デッサン		
7	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	映像ワークショップ	三田村光土里	1単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。			
【講義概要】			
フォト・ストーリーをつくる			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、自分の好きな風景や被写体を見つけて学校周辺で写真を撮る。		
2	自分の写真集を作るつもりで、自由に撮る		
3	画像をセレクトし、テーマを決めて、タイトルをつける。		
4	グループに分かれて鑑賞し合う		
5	制作チェック		
6	レクチャー		
7	レクチャー・ブレスト		
8	グループミーティング		
9	制作		
10	編集		
11	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 現代美術家。1964年生まれ。写真を使った空間作品を国内外で発表。2006年ウィーン分離派館にて個展。2003年東京都写真美術館『日本の新進作家展vol.2』。2016年あいちトリエンナーレ他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアブランディング基礎B	馬谷浩樹	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各自でイメージしたものを実装していけることを目標にします。今後、体験したことを社会で活かせるよう興味を持つことを目標にします。			
【講義概要】			
アプリケーションの画面制作について学びます。各自で制作イメージをイメージして制作体験をします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	環境構築・Xcodeの使い方		
3	各部品の説明(テキストラベル・イメージ等)		
4	レイアウトの調整		
5	デザイン案制作		
6	アプリケーション画面制作		
7	アプリケーション画面制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1978年広島県生まれ。株式会社Playground設立。活動としてアプリケーション開発、Webシステム開発。データ収集、解析。ホームページ制作。プログラミングスクール。Webサービス開発支援など。大手国内、外資系サービスのシステム・ソフトウェアプログラマー経験。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションB	須田浩介	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
モチーフをコラージュで作ることで画面の構成や配色を考える、モチーフをよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。			
【講義概要】			
水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	コラージュしたモチーフを絵の具で描く		
3	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作①		
4	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作②		
5	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作③		
6	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作④		
7	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作⑤		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン基礎	奥定泰之	1単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
「読むこと／見ること」をどうデザインでコントロールするかを意識しながら、InDesignを自由に使いこなし、エディトリアル作品を制作する。また実際の制作現場に対応できるような、本の素材や構造、印刷方法なども身につける。			
【講義概要】			
InDesignというアプリケーションを使って、レイアウト、素材、構造などを意識しながら、冊子形式のエディトリアル作品を試作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	InDesignとは何か		
2	制作		
3	書籍のデザイン（文字組）		
4	制作		
5	雑誌のデザイン（レイアウト）		
6	制作		
7	作品制作のミーティング		
8	制作		
9	制作チェック		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	仕上げ・講評		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』（論創社）、『近代デザイン史』（武蔵野美術大学出版局）。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブックデザイン	守先 正	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
InDesignの操作を習得して、文字組みの基本を学習します。使用する紙のことまで考えて、本が1冊どのようにしてできあがるのかを学習します。			
【講義概要】			
四六判の本のカバーまわり（カバー、オビ、表紙、見返し、別丁とびら）と本文（とびら、目次、本文、略歴、奥付）のデザイン一式を実習します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講評会
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	カバーデザインラフ案		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	本文デザイン		
13	制作		
14	制作		
15	カバーまわりデザイン試作チェック		
16	カバー・本文デザイン案		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>1962年兵庫県生まれ。1986年筑波大学芸術専門学群卒業。1988年筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。花王株式会社作成部、筑波大学芸術学系助手、鈴木成一デザイン室を経て、1996年有限会社モリサキデザイン設立。主にブックデザインの仕事をを行う。2014年より多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科、2016年より同大学美術学部統合デザイン学科非常勤講師。</u>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	マーケティング	山本哲次	2単位 81時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>お店の企画立案から広告デザインまでの制作を通して、企画・戦略・表現の関係を学習します。特にこの授業では、ビジネスにおいて最も重要視されるマーケティングを学び、表現メディアに求められる本質とその役割についてを学びます。将来、職種を広げた場合でもビジネスを生み出していく力をつける授業です。</p>			
【講義概要】			
<p>グループで制作する授業です。経営のかんばしくないお店を立て直す戦略を練り、企画立案・媒体計画を立て、広告デザイン案の制作を行い、プレゼンテーションまで行います。また、授業内でマーケティングやアイデアの出し方、美しい表現のポイントなどについての講義をします。企画の立て方や制作プロセスは、授業の中で説明します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／講義	17	企画書作成／講義
2	仮説を立てる	18	制作
3	リサーチの発表	19	媒体計画案／ロゴプレゼン／講義
4	ターゲットの設定	20	制作
5	制作	21	企画プレゼン／媒体別デザイン案試作／講義
6	ターゲットの心理の洗い出し	22	制作
7	制作	23	媒体別デザイン案試作
8	グルーピング	24	制作
9	制作	25	プレゼンテーション／講評
10	インサイトの発見	26	制作
11	制作	27	講評会
12	インサイトとプロポジション／講義		
13	制作		
14	コンセプト作成／講義		
15	制作		
16	企画書作成／ネーミング		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。 花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスターリエナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインとアート	松蔭浩之	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
現代美術の世界をわかりやすく解説。特にデザインの重要な作家と技法を紹介し、実践を試みる。			
【講義概要】			
美術史の流れの中で生まれた技法や手法を用いて、今までの自分とは異なる“変わった”作品を制作。座学とワークショップ形式の授業から現代美術を体感する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	DADA～アヴァンギャルドの時代		
2	イヴ・クライン～ヌーヴォレアリスム		
3	アンディ・ウォーホル～ポップアート		
4	ジェフ・クーンズ～シュミレーショニズム		
5	会田誠と小沢剛～シュミレーショニズム2		
6	現代の美術のあり方		
7	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブランドプロデュース	田中北斗	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ブランド全体のデザイン、ディレクション力、プロデュースを経験し、企画～デザイン制作を総合的に行い幅広いスキルを身につける。			
【講義概要】			
架空の店舗（ブランド）の総合プロデュース。店舗業態の企画構想、各種デザイン 及び プロモーション計画までを提案。 ①世の中の店舗やブランドを検証 ②ブランディングの構築 ③各種グラフィックデザイン制作 ④モックアップ（パッケージのダミーなど）制作 ⑤企画書の制作、プレゼンテーションの実施			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・業態企画の検討		
2	業態企画の発表（業態コンセプト・ネーミング）		
3	店舗ロゴマークデザイン		
4	店舗ロゴマーク案の発表		
5	店舗イメージ（店舗外観・制服 等）		
6	店舗イメージの発表		
7	パッケージ（ギフト・テイクアウト用 等）		
8	パッケージ デザイン案の発表		
9	宣伝ツール（DM・カード・フライヤー 等）		
10	宣伝ツール デザイン案の発表		
11	各種アイテム制作		
12	各種アイテム制作		
13	チェック・修正・モックアップ制作		
14	総		
15	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家（デザインコンサルティング）。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	WEBコミュニケーション	秋山カズオ、 中須賀美和子	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
WEBメディアを利用したコミュニケーションやプロモーションの基礎知識を理解します。WEB用語の習得やWEBデザインの内容、最新のトレンドなど生活の一部となったWEBを理解するとともに、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。			
【講義概要】			
WEBを利用したコミュニケーションやプロモーションは今や欠かせないものになっています。最新のトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、コミュニケーションやプロモーションの背景にある想いやメッセージを理解する力を育みます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	WEBプロモーションってなあに？		
2	SNSの違いを知ろう！		
3	インターフェイスの重要性		
4	WEBサイトデザイン1		
5	WEBサイトデザイン2		
6	WEBサイトデザイン3		
7	コーディング実習1		
8	コーディング実習2		
9	リスティング・リターゲティング・SEO		
10	これからのWEBプロモーションとは？		
11	WEBプロモーション企画1		
12	WEBプロモーション企画2		
13	WEBプロモーション企画3		
14	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
秋山 カズオ：1970年香川県生まれ。株式会社DELUXE設立。クリエイティブディレクター。コミュニケーションディレクター。ブランディング、WEBプロモーション、パッケージ、CI/VI、広告制作。東京TDC正会員。日本BtoB広告賞金賞、日本パッケージデザイン大賞。。			
中須賀 美和子：1979年愛知県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン学科卒業。レシップ株式会社デザイン室勤務を経て株式会社DELUXEに入社。ウェンディーズ・ファーストキッチン、L'OCCITANE、ROLA×REBECCA MINKOFF、Cafe de Miki with Hello Kitty、キャラクター制作・監修にふなっしー、ガチャピン・ムック、うえたんなど。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	広告デザイン	近藤 忠	1単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
課題をとおり、広告表現の面白さと発想と技術を学ぶ。			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ●課題①：コピーを考える（授業内完結） ●提課題②：ビジュアルにコピーを付ける（授業内完結） ●課題③：公共広告を制作する（ラフ提出→講評→完成物提出→プレゼン→講評） 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作チェック		
9	制作		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1958年新潟市生まれ。武蔵野美術短大専攻科卒。1990年近藤忠デザイン事務所設立。和光大学芸術学科特任教授。</p> <p>毎日広告デザイン賞／公共広告の部・最高賞、毎日広告デザイン賞／広告主参加の部・最高賞、東京ADC賞、等受賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインの仕事と現場	大久保裕文	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイディアや実際の作業の説明。			
【講義概要】			
いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義、ディスカッション		
3	講義、ディスカッション		
4	講義、演習		
5	講義、ディスカッション		
6	講義、ディスカッション		
7	講義、演習		
8	講義、ディスカッション		
9	講義、ディスカッション		
10	講義、演習		
11	発表・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義およびディスカッション形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年東京都下谷生まれ。セツ・モードセミナー、桑沢デザイン研究所卒業。雑誌を中心に書籍、ポスター、新聞広告等で活動中。2005年、2006年読売広告金賞。2009年桑沢賞受賞。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	リ・デザイン	田中北斗	1単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
世の中にある様々なパッケージデザインを考察し、リブランディング及びパッケージデザインのリニューアルに挑戦します。リニューアルへむけた商品の企画（ターゲット再考、コンセプトの立案）、パッケージデザイン、構造の再検討など既存の商品パッケージを題材に、幅広い知識やデザインスキル（グラフィック及びプロダクトデザイン）を学びます。			
【講義概要】			
授業前半で、課外授業を実施。印刷博物館で開催される「現代日本のパッケージ2022展」を訪れ、日本三大パッケージコンペティションでの入賞・受賞作品より、プロのアイデアやデザインを考察します。その後、各自、リニューアルの題材となる商品パッケージを決め、リニューアルコンセプト～デザインを制作。モックアップ（パッケージダミーの工作）と企画書を制作し提出します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	商品企画の検討		
3	課外授業		
4	商品企画の制作		
5	商品企画の発表		
6	デザイン案 制作開始		
7	制作		
8	デザイン案 チェック		
9	修正・制作		
10	修正・制作		
11	修正・制作		
12	修正・制作		
13	修正・制作		
14	モックアップ制作		
15	モックアップ制作		
16	企画書制作		
17	プレゼン・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家（デザインコンサルティング）。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アートディレクション	大石恵美子	1単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>アートディレクションの根幹である「ビジュアルでコミュニケーションをする」ための3つの基本的な力を養います。①柔軟な発想力 ②幅広い表現力（得意な技法を極め、不得意・未知の分野に挑戦する）③物量を克服する持久力と執着心</p>			
【講義概要】			
<p>1つのテーマから100種類のビジュアルを作ります。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	テーマ発表		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	経過チェック		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	最終チェック		
13	制作		
14	制作		
15	プレゼン・講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 アートディレクター。1987年東京藝術大学卒業。1989年同大学院デザイン科修了。株式会社電通入社。ニューヨークADC、ニューヨークフェスティバル、クリオ賞、カンヌ広告賞、他受賞多数。『新アートディレクター入門』編集、『プロモーションとアートディレクション』執筆。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポスターデザイン	草谷隆文	1単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>今まで学んだテーマから、タイポグラフィを主体としたポスター作り。B1の大型ポスターを作る事により、文字のディテールを追求、研究する。</p>			
【講義概要】			
<p>各自、漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベットを1文字選び、文字の持つディテールを研究しつつ、ファインアートを取り込んだポスター作品を制作。指導者も同時に制作し、おのおのディスカッションをして進めていく。企画のたて方や進め方は授業の中で説明。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	第一回案の発表 修正のアドバイス		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	修正を持参、各自チェック、アドバイス		
6	制作		
7	制作		
8	制作までのプロセス決定		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作&アドバイス、以下出力へ		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	授業開始までに作品完成。講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。[入選/受賞歴] 1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ/インターンシップ	上野仁志、岡山拓	4単位 87時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。 インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
【講義概要】			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行いません。また、就職についての講義を行いません。 就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	制作
3	講義（面接・プレゼン）	20	個別アドバイス
4	制作	21	制作
5	ポートフォリオチェック	22	ポートフォリオチェック
6	制作	23	制作
7	ポートフォリオチェック	24	個別アドバイス
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	2回目（講義：クリエイティブの就職について）	27	ポートフォリオチェック
11	制作	28	制作
12	ポートフォリオチェック	29	4回目（講義：クリエイティブの就職について）
13	制作		
14	制作		
15	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p><u>岡山 拓史</u>：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。</p>			
<p><u>上野 仁志</u>：1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			